

お知らせ スズメバチに

「注意ください」

私たちが身の回りで見かけるハチは、農作物の害虫を捕まえたり、植物の花粉媒介やはちみつを作ったりと、人の生活や自然界のバランスを保つうえで重要な働きをしています。これらのハチは好んで人を刺すわけではありません。しかし、スズメバチは攻撃性が強く、注意が必要です。

【刺されてしまったら】

- ・落ち着いて、その場（巣の近く）から静かに離れる。
- ・刺された傷口周囲を圧迫し、毒液を絞り出すようにして流水でよく洗い流し、氷または冷水で冷やす。
- ・患部には、虫刺され薬（抗ヒスタミン軟膏）を塗る。
- ・できるだけ早く医療機関で受診する。

【巣の撤去】

町では、個人の土地や建物にできた巣の撤去や撤去費用の助成は行っていません。

ハチの駆除や巣の撤去は、土地・建物の所有者や管理者で責任を持って対応していただく必要があります。ただし、巣の撤去作業は非常に危険を伴いますので、なるべく専門

の業者に依頼してください。

なお、費用には差がある場合がありますので、複数の業者から見積もりを取り、申し込むことをおすすめします。

【ハチトラップとは？】

春（3～5月）の涼しい時期に、冬眠から目覚めた女王バチが1匹で巣作りのため庭木や植栽に飛来します。この時期にハチトラップを設置し、女王バチを捕獲することにより家の周りに巣を作らせない効果が期待できる仕掛けです。

【ハチトラップの作り方】

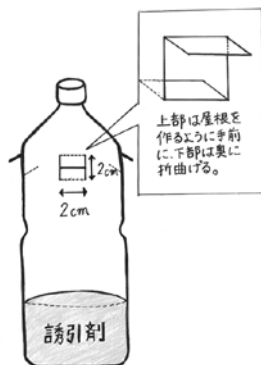
- 材料
 - ・ 2ℓまたは1.5ℓのペットボトル
 - ・ 酒300ml・酢100ml
 - ・ 砂糖125g
- ・ ひも
- 手順
 - ・ ペットボトルにカッターでハチの入り口となる穴（図参照）を2～4か所作る。次に②をよく混ぜ合わせ誘引剤を作り、容器に入れる。最後にひもを付け、木の枝等に引っかける。

○設置の注意

- ・ ハチが活動しない夜間から朝に設置。
- ・ 日陰で、子どもの手に届かない高さに設置。

・ 普段から人が通行・作業している場所を避け設置。

・ 気温の高くなる6月以降は、女王バチの代わりに働きバチが飛んでくるようになり、逆にスズメバチをおびき寄せることになるので設置しない。



■問い合わせ

環境課

☎893-1160

お知らせ 粗大ごみの収集について

4月は伊野地区の粗大ごみ収集月です。各戸に配布している、平成31年度ごみ収集日程表で収集日を確認のうえ、収集日当日の8時までに地区の指定するごみステーションに出してください。

※指定ごみ袋に入らない大きさのごみを粗大ごみとして収集します。指定ごみ袋に入る大きさのごみは必ず分

別して、可燃、不燃、資源の各指定収集日に出してください。ご協力をお願いします。

■問い合わせ

環境課

☎893-1160

お知らせ 古い消火器は危険です

古くなった消火器は、いざという時に使えなかったり、そのまま放置していると、事故につながる場合があります。使用期限の過ぎた消火器を安全に回収してリサイクルするため、消火器のリサイクルにご協力ください。メーカー団体が引き取り、リサイクルします。ご質問などは、コールセンターまでお問い合わせください。

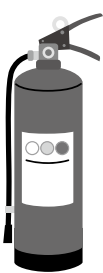
■問い合わせ

(株)消火器リサイクル推進センター コールセンター ☎03-5829-1160

受付時間 9時～17時
※ただし、土日祝日、休日及び12時～13時を除く。



消火器リサイクル窓口検索QRコード



- リサイクル費用が必要となります。
 - 引取対象外の消火器
 - ・ 日本消火器工業会会員メーカー以外の製品
 - ・ エアゾール式消火具（スプレー式）
 - ・ 外国製品
- ※お近くの回収窓口は、ホームページ（www.feipc.jp）で検索できます。